

「いのちを支えるエンジニア」の出前授業

日本臨床工学技士会 専務理事 青木郁香

このたび、公益社団法人 日本臨床工学技士会（日臨工）では、公益/広報活動の一環として、小学校が主催するキャリア教育イベント「キャリアパスポートデー*」への出前授業を提供いたしました。

9月14日（水） 私立帝京大学小学校（東京都多摩市） 6年生 23名

10月13日（木） 港区立筈小学校（東京都港区） 6年生 28名

画像1 出前授業の様子（私立帝京大学小学校）



【キャリアパスポートって、なに？】

文部科学省が2020年度より提示した、小・中・高を通じたキャリア教育として“自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと”です。

【どんな授業を届けたか】

テーマ「医療機器に関わるお仕事。おしっこを作る機器『血液透析』^{けつえきとうせき}について学ぼう！」

臨床工学技士の仕事にとどまらず、医療機器メーカー（株式会社日機装）や医療機器センターなど医療機器に関連した、お仕事紹介

の場としました。医療機器を使う人と医療機器を作る人のお仕事について、子供たちが実際に体験を通じて考える機会を技士会として提供したいと考えていました。

実際に医療現場で使われている道具を手に取って観察したり、牛乳を透析装置で濾過する実験を試みたりしました。また医療機器に関するクイズも実施しました。クイズの答えを出すのに、グループ内でコンセンサスを取る必要があったため、子供たちの間で多くの対話が生まれていました。

画像2 透析の実験に真剣な表情を見せる子供たち（私立帝京大学小学校）



今回の出前授業を通して、児童が医療機器に関わる仕事に興味を抱き、将来の職業を選択する際の一助になれば幸いです。

注）本授業は「密を避ける」「マスク常時着用」「検温」「手指消毒」などの新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みに十分配慮して実施いたしました。

（*）「キャリアパスポートデー」

主催：私立帝京大学小学校（東京都多摩市）、港区立筈小学校（東京都港区）

協力：株式会社 日機装、公益財団法人医療機器センター、株式会社 談広告